

第1弾！ 社会科公開授業

授業者 沼田市立白沢中学校 今井 幸生 教諭



10月1日(火)、13の公開授業に先立ち、沼田市立白沢中学校において、社会科の公開授業が実施されました。



当日は、館林市や上野村など県内各地から50名を超える参加者がありました。また、小学校の先生にも参加をいただきました。

※本時の評価問題(知識の活用に関する問題)が、P12に掲示してあります。

【単元】 3年公民的分野 『地方の政治と自治』

【目標】 主体的に地域の発展に寄与しようとする自治意識の基礎を育てる

【伸ばしたい資質・能力】

・政治参加をする際の見方や考え方

一番必要なものは何か

より多くの人のためになっているか

実現可能か

より効果的なものはないか

・政治参加の方法について考えようとする力

・よりよいまちづくりについて、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考える力

どのように
“社会参画する力”
を育成するか！

授業の様子 ①

1. 本時の学習課題の確認



各自が考えた「よりよいまちづくりへの提案」をランク付けし、その理由を考えよう。

2. よりよいまちづくりの提案説明



生徒一人一人が自分で考えた「よりよいまちづくり」について提案理由を説明しました。

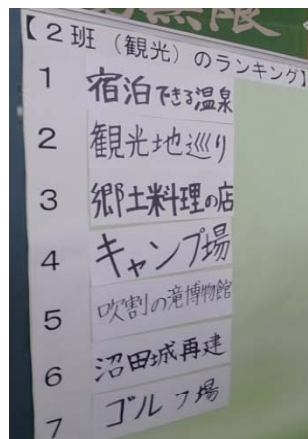
【各班のテーマ例】

- 1班：観光を充実させ、まちを活性化させよう
- 3班：医療・福祉を充実させ、人に優しいまちにしよう
- 5班：公共施設を充実させ、市民の生活を豊かにしよう

3. それぞれの提案のランク付け



各自が考えた提案を、各班毎にランク付けしました。

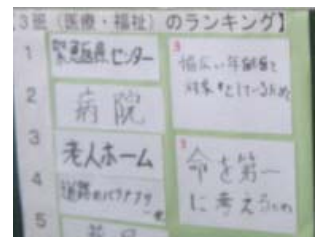
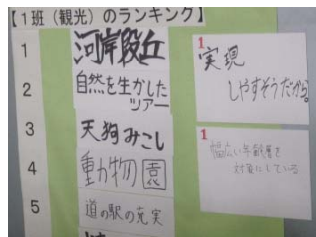


班のテーマを実現するには、どの提案が有効でしょうか？

4. ランキングした理由を考える



上位3位までにランクされた提案について、なぜ上位に選んだのか、その理由を考えました。



5. 代表班による発表

代表班が、ランキングの結果と、上位に位置付けた理由を、フリップを使いながら発表しました。



代表以外の班も、理由を書いたフリップを黒板に貼りました。

6. ランク付けした理由の分類・整理

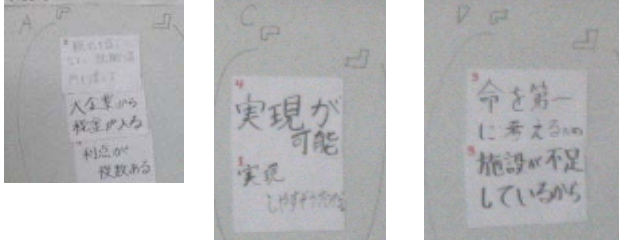


各班から出された、上位に選んだ理由を、KJ法を用いて分類・整理し、その特徴を見つけました。

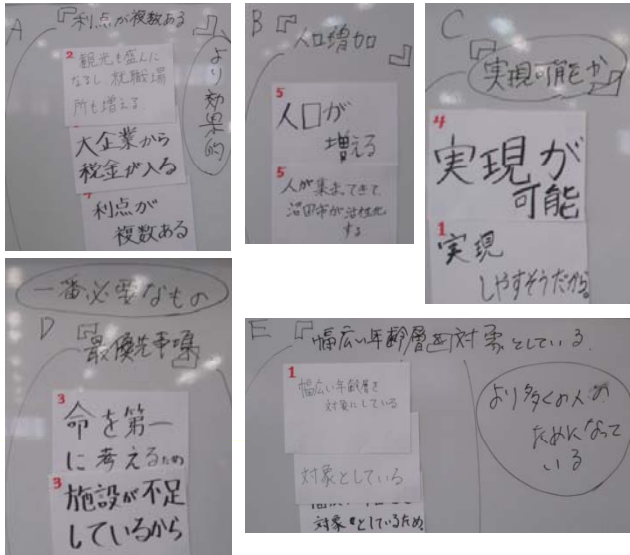
授業の様子 ②

7. 分類した理由にタイトルを付ける

まず、生徒一人一人が、分類・整理した理由にタイトルを付けました。



その後、全体で発表しあい、理由のタイトルを決定しました。



8. まとめ

なぜ、上位にランクされたのか
↓
「よりよいまちづくり」を考える視点
政治に参加するときの見方・考え方



今日見つけた見方や考え方は、新聞やニュースを見るとき、選挙で候補者の意見を聞くときの視点や、どれがよいかを判断する基準にもなります。

現代社会をとらえる見方や考え方の「効率と公正」と関連した考え方ですね。

【授業研究会での意見】

<よかった点>

- ・政治参加する際の見方・考え方に気付かせたのは、社会参画の意識を育てる上で有効である。
- ・話し合いの中に「対立と合意」があった。
- ・ランク付けは、「効率と公正」の考え方を想起させる上で有効であった。

<改善点>

- ・本時の課題が、前半の学習活動のものであった。後半の課題を途中からでも提示すべきであった。
- ・ランク付けの理由を考える時間をもう少し確保することで、生徒からより多くの考えを引き出すことができたのでは。
- ・班での話し合いは4人位が活発になる。
- ・KJ法による分類・整理を生徒主体で行わせることが、生徒の気付きにつながる。



【参加者の声】

- ・身近な事例を取り上げる、ランク付けやKJ法による分類・整理など、今後自分の授業でも追試をさせていただきたい。
- ・今まで政治的な見方や考え方の育成は、踏み込んで扱っていなかった内容なので、参考になった。
- ・ねらい、伸ばしたい力、手立てがまとまった書式が分かりやすかった。ワークショップ式の授業検討会も自校に取り入れていきたい。



【授業者の感想】

授業づくりをとおして、今までの自分の実践を振り返ることができました。今後もワークショップ型の授業や、社会参画への意識を高める授業を積極的に取り入れていきたいと思います。



また、「伸ばしたい資質・能力」を明確にした授業づくりができるよう、「何を、どのように教えるか」ということを常に意識して、更なる授業改善に取り組んでいきたいと思います。

提案授業について (社会)

本時のねらい

各自が考えた「よりよいまちづくりへの提案」について、各班においてランク付けした理由を、比較・関連付けながら分類・整理することにより、「政治参加をする際の見方・考え方」に気付かせる。



主な伸ばしたい資質・能力		学習活動
知 技 考 え	<ul style="list-style-type: none">政治参加をする際の「一番必要なものは何か」「より多くの人のためになっているか」「実現可能か」「より効果的なものはないか」という見方や考え方政治参加の方法について考えようとする意欲	<ul style="list-style-type: none">各自が考えた案を、班で検討し、ランキングする。ランク付けした理由を考える。ランク付けした理由を分類・整理し、グループのタイトルを考える。
力	<ul style="list-style-type: none">よりよいまちづくりについて、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考える力	

＜提案する手立て＞

① 主体的に政治に参画する態度の養い方

- 「よりよいまちづくり」についての具体的な提案を考えることをとおして、「政治参加をする際の見方・考え方」を明らかにする。
- 政治参加をする際の見方・考え方
「一番必要なものは何か」、「より多くの人のためになっているか」、「実現可能か」、「より効果的なものはないか」

② 「政治参加をする際の見方・考え方」の気付かせ方

＜各班＞

- 各自が考えた案をランキングする。
- 上位にランク付けした理由を考える。

＜全体＞

- 各班から出されたランキングする際の見点を、KJ法を用いて分類・整理する。

＜協議の視点＞

- ① 主な伸ばしたい資質や能力について
- ② 学習活動や手立てについて

社会科学習指導案

平成25年10月1日（火曜日）第5校時（13：35～14：25）3年A組 指導者 今井 幸生

1 単元名 地方の政治と自治

2 考察

(1)教材観

①学習内容：学習指導要領上の位置付け

- ・ 公民的分野(3)「私たちと政治」イ
- ・ 地方公共団体の政治について理解させるとともに、住民の権利や義務に関連させて、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を育てる。

②主な伸ばしたい資質・能力

- ・ 地方公共団体における現実の政治に対する関心
- ・ 政治参加の方法について考えようとする意欲
- ・ 地方公共団体の政治にかかわる様々な事象から課題を見いだす力
- ・ 民主的な政治にかかわる課題や意義について多面的・多角的に考える力
- ・ 課題に対し、効率と公正などの視点から考えた結果を、適切に表現する力
- ・ 地方公共団体の政治の仕組みに関する資料を集め、適切に読み取る技能
- ・ 地方自治は、住民参加による住民自治が基本であることの理解
- ・ 地方公共団体の政治の仕組みや役割の理解

③そのために必要な指導・学習活動

- ・ 地方公共団体の組織と仕事内容について、沼田市の資料を基に調べる。
- ・ 政治参加をする際の見方や考え方を考える。
- ・ 身近な地域の人々の沼田市に対する要望や課題を調査し、結果を分類・整理する。
- ・ 沼田市をよりよいまちにするための方策を考え、提案する。
- ・ 沼田市役所や沼田市議会の組織と仕事内容に関する資料を市役所訪問やインターネットを活用して収集する。
- ・ 地方自治における住民の権利、直接請求権について、沼田市の資料を基に調べる。
- ・ 沼田市職員から、提案についての講評や沼田市民の政治参加の現状と課題についての講話を聞き、課題に対する考えをまとめる。

④今後の学習の活用

- ・ 「私たちと国際社会の諸課題」の学習において、世界平和と人類の福祉の増大における我が国の役割や、よりよい社会を築いていくための課題について考えをまとめる際に、今回見つけた「政治参加をする際の見方・考え方」の視点を生かしていく。

(2)本単元に関わる生徒の実態及び指導方針（男子17名、女子21名、計38名）

①これまでの既習内容

- ・ 小学校6年において、沼田市の仕事の概要を学習しており、地方公共団体の組織や地方公共団体が住民の要望を生かしながら政治を行っていることは理解している。
- ・ 現代社会の課題とその解決策を考えることに関しては、公民的分野の最初に対立と合意、効率と公正という見方・考え方について学んでおり、考え方の基礎はできている。

②本単元に関わる実態及び指導方針

- ・ 地方自治の学習に関心の高い生徒は14名であった。その理由は、「自分たちの生活にも関わるから。」「自分たちが住んでいる地域はどのような問題を抱え、それに対してどのような活動をしているのか興味があるから。」などである。地方自治に、より関心を持たせるために、沼田市の具体的な事例を取り上げ、市職員をゲストティーチャーに招く。
- ・ 身近な生活に関わる課題の解決策を考えることを苦手とする生徒が多いため、実際に身近な人へのアンケート調査を行い、地域の実態を把握した上で提案を考える学習を行う。
- ・ 調べたことや資料から読み取ったことを比較・関連させて考えたりまとめたりする学習経験が浅いため、KJ法を用いて分類・整理する学習活動を取り入れる。

3 単元の目標

地方公共団体の仕事や役割について、具体的な事例を基に調べることとおして、地方自治への関心を高め、住民の一人として、主体的に地域の発展に寄与しようとする自治意識の基礎を育てる。

4 指導計画（全8時間予定）＊詳細な「指導と評価の計画」は、別紙参照

時間	主な内容	主な伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
		知識・技能・考え方	思考力・表現力等	
評価 規 準	社会的事象への 関心・意欲・態度	地方公共団体の政治に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、民主的な政治について考えようとしている。		
	社会的な 思考・判断・表現	地方公共団体の政治にかかわる様々な事象から課題を見いだし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		
	資料活用の技能	地方公共団体の政治に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。		
	社会的事象への 知識・理解	地方自治の基本的な考え方、地方公共団体の政治の仕組みを理解し、その知識を身に付けている。		
第1 時	課題をつかむ	<ul style="list-style-type: none"> 沼田市民の要望や沼田市の政治の課題 アンケート結果を分類・整理する技能 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果から比較・関連させ、沼田市の課題を考える力 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な人へのアンケート結果を分類・整理し、沼田市の課題を見い出す。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>【学習課題】 沼田市をよりよいまちにするためには、私たちはどのように関わっていくことができるのだろうか。</p> </div>				
第2 ～ 7時	追究する	<ul style="list-style-type: none"> 沼田市の政治の仕組み 政治は住民の意思に基づき行われていること 市の組織図から地方公共団体の仕事を読み取る技能 市の財政の仕組み 資料から市の財政の特徴を適切に読み取る技能 沼田市民の要望が市政に反映されていること 住民の政治参加の方法 	<ul style="list-style-type: none"> 市の政治と市民生活を関連させて考える力 歳出の内訳や変化を比較・関連させ、市の政治の方針を考える力 沼田市の財政上の課題を見い出す力 よりよいまちづくり案の提案方法を選択する力 よりよいまちづくり案を考える力 提案理由をまとめる力 	<ul style="list-style-type: none"> 沼田市役所の組織図を調べる。 市役所の仕事と市民生活を関連させる。 市長と議会の関係を調べる。 沼田市の歳入と歳出の内訳を調べる。 歳入の内訳から、沼田市の財政上の課題を考える。 住民の声を反映させる方法を調べる。 まちづくり案の提案方法を選択する。 各自でよりよいまちづくりへの提案を考える。
	(本時)	<ul style="list-style-type: none"> ランク付けした理由を分類・整理する技能 政治参加をする際の見方・考え方 政治参加の方法について考えようとする意欲 	<ul style="list-style-type: none"> 提案理由を明確に説明する力 	<ul style="list-style-type: none"> 提案を班でランキングする。 全体でランク付けをした理由を分類・整理する。
			<ul style="list-style-type: none"> 「政治参加をする際の見方・考え方」を活用 	<ul style="list-style-type: none"> 各自の提案を修正する。

第8時	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 地方公共団体における現実の政治の内容 	<ul style="list-style-type: none"> し、提案を考える力 よりよいまちづくりへの提案を分かりやすく説明する力 既習事項と講師の説明を関連させ、課題について考えをまとめる力 	<ul style="list-style-type: none"> ゲストティーチャーにまちづくり案を提案し講評してもらう。 単元を貫く学習課題に対する考えを自分の言葉でまとめる。
-----	-----	--	--	---

5 本時の展開 (6/8)


(1)ねらい 各自が考えた「よりよいまちづくりへの提案」について、各班においてランク付けした理由を、比較・関連付けながら分類・整理することにより、「政治参加をする際の見方・考え方」に気付かせる。

(2)準備

(教師) 学習課題、模造紙、マーカー、フリップ、ワークシート、移動式ホワイトボード (黒板)

(生徒) 提案書

(3)展開

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
1 本時の課題を把握する。 [学習課題] 各自が考えた提案をランク付けし、その理由を考えよう。	2分	○本時の学習の見通しがもてるよう、本時の学習の流れを確認する。
2 課題を追究する。 (1)各自で考えたよりよいまちづくり案について班で検討し、ランキングする。 ・各自が考えた提案とその理由を発表する。 ・班全体で上位にランク付けした理由を考える。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> なぜこの提案の方が、よりよいまちづくりにつながるのでしょうか。 </div> ・各班のランキング結果と理由をホワイトボードに貼る。	20分	○比較・検討しやすいように、同じテーマ同士の生徒でグループをつくる。(観光、医療・福祉、公共施設、商業、就職) ○ランキングの際の判断材料を持たせるため、班の全員に提案理由を発表させる。 ○各自の提案を視覚的に理解させるため、提案書を班員に示しながら発表させる。 ○「ランク付けするときの視点」に気付かせるために、ランク付けした理由を考えさせる。 ○「政治参加をする際の見方・考え方」につながる観点でランク付けできるよう、「よりよいまちづくりにつながるか」という視点で考えさせる。 ○ランク付けした理由を分類・整理しやすいように、それぞれの理由ごとに1枚のフリップを用意し、記入させる。 ○各班のランキング結果と理由が確認できるよう、ホワイトボードに貼付させる。
(2)代表2班が、ランキング結果と上位にランク付けした理由を発表する。 ・代表生徒が、ランキング結果とその理由を書いたフリップをホワイトボードに掲示し、説明する。 ・代表以外の班のランク付けした理由を掲示する。	10分	○「ランク付けするときの視点」に気付かせるために、ランク付けした理由を中心に発表させる。 ○より多くの理由を出させるために、代表以外の班のランク付けした理由を全て掲示させる。
(3)全体でランク付けした理由を分類・整理し、ランク付けする際の視点を考える。 ・発表された理由を、分類・整理する。		○ランク付けした際の視点を見つけやすくするために、KJ法を用いて分類・整理する。 ○ランク付けした際の視点に気付かせるた



どのような視点で、ランク付けしたのでしょうか？

- ・分類されたグループごとのタイトルを、各自で考える。
- ・考えたタイトルを発表し合い、ランク付けする際の視点を確認する。

〈表れてほしい生徒の意識〉

よりよいまちづくりを提案する際には、「一番必要なものは何か」「より多くの人のためになっているか」「実現可能か」「より効果的なものはないか」という視点で考えることが大切なんだな。

15分

- めに、分類した各グループのタイトルを考えさせる。
- 一人一人が自分の考えをもてるように、各自でタイトルを考えさせる。
- ◎タイトルが考えられない生徒には、共通する語句などに着目させる。
- 生徒から出された意見のもとに教師が「一番必要なものは何か」「より多くの人のためになっているか」「実現可能か」「もっと効果的なものはないか」というタイトルでまとめる。

◇【思考・判断・表現】
「政治参加をする際の見方・考え方」に気付くことができる。
[観察・発言・ワークシート]

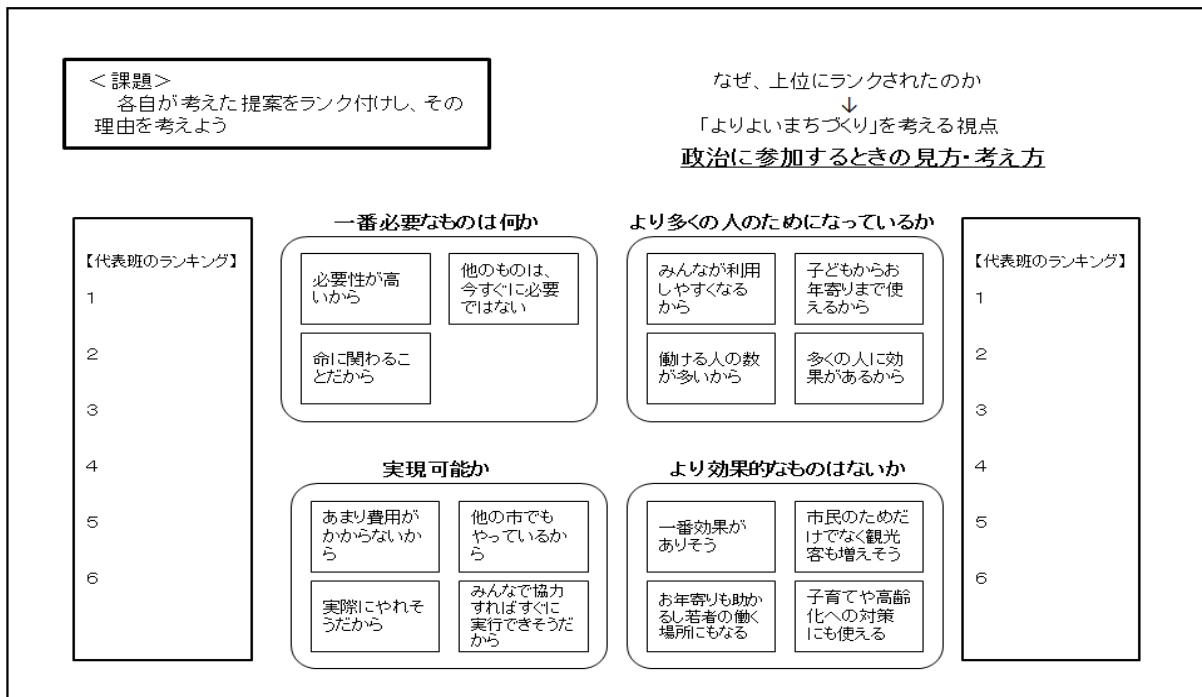
3 本時のまとめをする。

- ・ランク付けする際の視点と現代社会をとらえる見方や考え方を関連させて考える。
- ・次時の学習内容を確認する。

3分

- 効率と公正の考え方を想起させ、ランク付けする際の視点と「現代社会の見方や考え方」のつながりに気付かせる。
- 各自で考えたよりよいまちづくりの提案を、より充実させるために、「政治参加をする際の見方・考え方」を基に修正することを伝える。

6 板書計画



【指導と評価の計画（全8時間予定）】

単	時	主な学習活動	主な指導方針と指導上の留意点、具体的な評価規準	関	思	技	知
つかむ	1	<p>1 課題を把握する。</p> <p>○身近な人へのアンケート調査結果を分類・整理する。</p> <p>○身近な人へのアンケート調査結果と沼田市が行ったアンケート調査結果を比較する。</p> <p>○沼田市がアンケートを行った理由を考える。</p> <p>○単元を貫く学習課題を設定する。</p> <p>沼田市をよりよいまちにするためには、私たちはどのように関わっていくことができるのだろう。</p> <p>○現時点での課題に対する考えをもつ。</p>	<p>○事前に「沼田市のまちづくりに関する課題」について家族や近所の高齢者にアンケート調査しておく。</p> <p>○沼田市の課題を見いだすために、アンケートで出された意見を、付箋に書き、KJ法を用いて分類・整理する。</p> <p>（観光、医療・福祉、公共施設、商業、就職）</p> <p>○生徒の意識の範囲を沼田市全体に広げるために、身近な人へアンケート結果と沼田市全体のアンケート結果を比較する。</p> <p>○地方自治の意味や地方分権の動きを理解するために、沼田市が市民アンケートを行った理由を考えさせる。</p> <p>【関】 アンケート結果から、沼田市の課題を進んで見いだそうとしている。（観察）</p>	○			
追究する	2	<p>2 課題を追究する</p> <p>沼田市役所は、どのような仕事をしているのだろう。</p> <p>○私たちの生活と沼田市役所の仕事の関係を考える。</p> <p>○沼田市役所の組織図を調べる。</p> <p>○沼田市役所の仕事内容は、どのように決められているのか調べる。</p> <p>○市長と議会が対立した場合の対応策を調べる。</p>	<p>○市の仕事をイメージさせるために、小学校の学習を思い出させる。</p> <p>○沼田市役所の仕事が、市民の生活と深く関わっていることを理解させるために、生徒の成長の過程や毎日の生活の具体的な場面を取り上げ、各課の仕事との関連を調べさせる。</p> <p>○生徒に関心を持たせるために、実際の沼田市役所の組織図を資料として用いる。</p> <p>○首長と議会の関係を理解しやすくするために、過去に行われた市長選挙や市議会議員選挙の資料を用いる。</p> <p>○国の政治の仕組みと異なる点を考えさせるために、地方自治と国の仕組みの図を対比させる。</p> <p>○首長と議会の均衡と抑制の関係について理解させるために、解散権や不信任決議権を取り上げる。</p> <p>【資】 沼田市役所の組織図から、仕事内容及び決定方法を適切に読み取っている。（観察・ワークシート）</p>			○	
		<p>沼田市のお金はどのように使われているのだろう。</p> <p>○沼田市の歳入と歳出の内訳を調べる。</p> <p>○歳出の各項目の割合の意味を考える。</p>	<p>○生徒に関心を持たせるために、実際の沼田市の歳入と歳出のグラフを資料として用いる。</p> <p>○市のお金が、市民生活の維持向上のために使われていることに気付かせるために、歳出項目の内訳を詳しく調べさせる。</p> <p>○厳しい地方財政に気付かせるために、歳入の国へ</p>			○	

3	<p>○財源の確保の方法を調べる。</p> <p>○債務が増えることの影響について考える。</p> <p>○財源を豊かにする方法を考える。</p>	<p>の依存と地方債の割合に着目させる。</p> <p>○地方債増加が深刻な課題であることに気付かせるために、地方債増加が公共サービスにどのような影響があるか考えさせる。</p> <p>○財源を豊かにする方法を考えやすくするために、地方税の内容について説明する。</p> <div data-bbox="683 416 1230 533" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【資】 沼田市の財政資料から、その現状及び課題を適切に読み取っている。(観察・ワークシート)</p> </div>		
4	<div data-bbox="296 573 643 689" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>沼田市のまちづくりに参加するには、どのような方法があるのだろうか。</p> </div> <p>○住民参画により生活が向上した好例があることを理解する。</p> <p>○住民が政治参加できる方法を調べる。</p> <p>○直接請求権について考える。</p> <p>○まちづくり案の提案方法を決める。</p>	<p>○沼田市民の要望が実現することを実感させるために、沼田駅前のパークアンドライドシステムの実現を例として取り上げる。</p> <p>○住民参加の方法を理解させるために、選挙権、被選挙権、直接請求権以外に、住民投票、情報公開制度、オンブズパーソン制度、自治会、ボランティア、NPOなど具体例を紹介する。</p> <p>○住民の権利と責任に気付かせるために、なぜ地方自治には直接請求権が認められているのかについて考えさせる。</p> <p>○地方政治への参加をより身近に感じられるように、本時で学習した住民参加の方法をもとに、沼田市をよりよいまちにするためのまちづくり案の提案方法を選択させる。</p> <div data-bbox="683 1115 1230 1232" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【知】 住民の政治参加の方法について、そのあらましを理解している。(ワークシート)</p> </div>		○
5	<div data-bbox="296 1267 643 1384" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>沼田市をよりよいまちにするための提案を考えよう。(1/3)</p> </div> <p>○提案する分野を決める</p> <p>○各自でまちづくり案を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案内容 ・提案理由 ・セールスポイント 等 	<p>○主体的に話し合いに参加できるように、生徒一人一人によりよいまちづくりへの提案書を書かせる。</p> <p>○グループ協議がしやすいように、第1時で見いだした沼田市の課題の5分野に分ける。(観光、医療・福祉、公共施設、商業、就職)</p> <p>○案を考えやすいように、インターネットを使用させたり、関係資料を用意したりしておく。</p> <p>○現実離れた案にならないよう、適宜、個別指導を行う。</p> <div data-bbox="683 1659 1230 1776" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【思】 資料をもとに、沼田市のよりよいまちづくりへの提案を考えることができる。(提案書)</p> </div>		○
6 本 時	<div data-bbox="296 1812 643 1928" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>各自が考えた提案をランク付けし、その理由を考えよう。(2/3)</p> </div> <p>○各自が考えた案を班で検討し、ランキングする。</p> <p>○上位にランク付けした理由</p>	<p>○ランキングする判断材料をもたせるために、各自の提案理由を発表させる。</p> <p>○ランク付けした理由を考えやすくするために、「なぜ上位にランクしたのか」という視点を与える。</p> <p>○各班のランキング結果と理由が確認できるよう、ホワイトボードにそれぞれ貼らせる。</p>		○

	<p>を、それぞれフリップに簡条書きでまとめる。</p> <p>○代表班が、ランキング結果と上位にランク付けした理由を発表する。</p> <p>○代表以外の班のランク付けした理由を発表する。</p> <p>○クラス全体で、出された上位にランク付けをした理由を分類・整理し、「政治参加をする際の見方・考え方」に気付く。</p>	<p>○「政治参加をする際の見方・考え方」に気付かせるために、ランク付けした理由をKJ法を用いて分類・整理する。</p> <p>○ランク付けした際の視点に気付かせるために、分類したグループのタイトルを考えさせる。</p> <p>○一人一人が自分の考えをもてるように、各自でタイトルを考えさせる。</p> <p>○生徒から出された意見のもとに教師が「一番必要なものは何か」「より多くの人のためになっているか」「実現可能か」「もっと効果的なものはないか」というタイトルでまとめる。</p> <p>○効率と公正の考え方を想起させ、ランク付けする際の視点と「現代社会の見方や考え方」のつながりに気付かせる。</p>				
7	<p>各自の考えた提案を充実させよう。(3/3)</p> <p>○「政治参加するときの見方・考え方」を基に、各自の提案書を修正する。</p>	<p>○見直す視点を明確にするために、前時で考えた、「政治参加するときの見方・考え方」を確認する。</p> <p>○各自の提案を充実させるために、「政治参加するときの見方・考え方」を基に、提案理由やセールスポイント等の工夫・改善を行わせる。</p>			○	
考え・まとめる	<p>3 考え・まとめる</p> <p>○ゲストティーチャーに、よりよいまちづくり案を提案する。</p> <p>○ゲストティーチャーから講評をいただく。</p> <p>沼田市をよりよいまちにするためには、私たちはどのように関わっていくことができるのだろう。</p> <p>○単元を貫く学習課題について考える。</p>	<p>○生徒の興味・関心を高めさせるために、ゲストティーチャー（市職員）を招く。</p> <p>○生徒が考えた、「政治参加するときの見方・考え方」を視点を講評がもらえるよう、事前にゲストティーチャーと打ち合わせをしておく。</p> <p>○単元を貫く学習課題について考えをまとめるために、各自、自分の言葉でワークシートに記入させる。</p>			○	

<参考資料 本時の学習の評価問題>

1 知識(政治参加するときの見方・考え方)を問う問題

太郎さんは、クラスの仲間がつくった「よりよいまちづくりに向けての提案」について次のような意見を述べた。Aさんが述べた意見は、授業で学習した「政治参加するときの見方・考え方」のどの考えにもとづくものか。
「政治参加するときの見方・考え方」の4つの視点から、それぞれ1つ選んで書きなさい。

(1) まちの活性化に向けての提案

- ・提案1 駅周辺をイルミネーションで飾り、人気スポットにしよう。
- ・提案2 日本の首都を東京から群馬県に移して、国会議事堂をこの町につくろう。



ぼくは、提案2よりも提案1のほうがいいと思う。
その理由は、(①)です。

解答例：提案2よりも提案1のほうが、実現の可能性が高いから

(2) 観光の発展に向けての提案

- ・提案1 うちわをつくって配ろう。
- ・提案2 まちのゆるキャラをつくって、PR活動を行おう。



ぼくは、提案1よりも提案2のほうがいいと思う。
その理由は、(②)です。

解答例：提案1よりも提案2のほうが、より効果がありそうだから

(3) 公共施設の充実にに向けての提案

- ・提案1 高齢者が集まって楽しく過ごせる施設をつくろう。
- ・提案2 バasketコートをつくろう。



ぼくは、提案2よりも提案1のほうがいいと思う。
その理由は、(③)です。

解答例：提案2よりも提案1のほうが、必要性が高いから

(4) 働く場所を増やすことに向けての提案

- ・提案1 大型ショッピングモールを誘致しよう。
- ・提案2 伝統工芸品を作る工場をつくる



ぼくは、提案2よりも提案1のほうがいいと思う。
その理由は、(④)です。

解答例：提案2よりも提案1のほうが、より多くの人のためになっているから

2 知識(政治参加するときの見方・考え方)を活用する問題

現在、日本は少子高齢化社会の真ただ中にいます。高齢者福祉をどのように進めていけばよいかは大きな課題です。

あなたの住んでいる地域で、高齢者の方々が安心して、充実した毎日を過ごすことができるようにするためには、どのような介護サービスが必要でしょうか。

次の3つの介護サービスの中から、あなたの住んでいる地域の実態を考え、一番必要であると考えられるもの1つ選んで、その理由を書きなさい。

【A 居宅サービス】



ホームヘルパーが自宅を訪問し、身体介護や生活援助を行うサービス。

<サービス内容>

食事、入浴、排泄のお世話、通院付き添い
掃除、洗濯、買い物、食事準備

【B 施設サービス】



自宅、在宅での介護が困難になった場合に、施設に入所して受けるサービス。

<サービス内容>

入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話
機能訓練、健康管理、療養上の世話

【C 地域密着型サービス】



住み慣れた自宅や地域での生活の継続を目的とした、小規模事業所によるサービス。

<サービス内容>

日中・夜間を通じての定期的な訪問介護
短期間の「宿泊」介護
少人数で共同生活をしながら受ける介護

<解答例>

○選んだサービス [C]

○選んだ理由

- ・住み慣れた自宅や地域で生活できることが、高齢者や家族にとって一番必要なことだと思うから。
- ・訪問、宿泊、共同生活など種類が多く、幅広く多くの高齢者の方が利用できるから。
- ・小規模の施設のため、施設をつくるための費用が安くすみ、表現の可能性が高いから。
- ・自宅や施設など健康状態によって変えられるので、利用者にとって便利(効果的)だから。